

サルステック株式会社 様

〒 249-0004
神奈川県逗子市沼間1-4-43
キリガヤラボズ201

お話を伺った方：小川博司 様

ご使用機種：ML-48



Q.ML-48を選定された理由を教えてください。

最初は海外製の3Dプリンタの導入を検討していました。しかし、そうすると本体はもちろん材料も個人で輸入しなければならなくなり手間になることを考えて購入に踏み切れずにいました。

また、体に触れるものであるため材料の成分が不明確な海外の材料は厳しいものがありました。そのため、材料も国産であり人体への影響に不安が少ない点と、バリが出ない光造形方式であるMUTOHの3Dプリンター、ML-48を選定させていただきました。

Q.どのように活用されていますか？また、導入の目的を教えてください。

オーディオ用（イヤホン）のサンプルを作成するために導入しました。しかし、現在は健康状態を把握し、何らかの異変を示す予兆を捕まえられるデバイス、システムの開発を行っています。

これらのサンプルもML-48を使って作成しているので、当初の目的だけでなく使用用途が広がって来ています。



Q.使用されて良いと感じた点がありますか？

予想通りの精度を出してくれています。耳の形状をスキャナーで読み取って3Dサンプルを作成するにあたり、人それぞれの耳の形を正確に出力することが求められます。その点でML-48は精度が高くデータ通りの出力が可能なのでとても重宝しています。

また、材料が国産ですので海外製の3Dプリンタに比べローコストであることや、ソフトウェアでは造形完了の予想時間が出るなどアイデアは抜群だと思います。

Q.弊社へのご要望などございますか？

光造形のML-48はフィラメントを熱で溶かすFDM方式と比べ、触ってすぐに違いが分かるほど精度が高く、満足のいくサンプルを作成することができています。

しかし、導入したての頃はデータ作りから出力まで慣れておらず戸惑う部分もあったので、初心者でも簡単に作業が行えるように今後ソフトウェアのバージョンアップを期待しています。

また、出力の際にソフトが一貫されているとよりわかりやすく、効率が良くなると思います。